

東京版
大会会場：9/2（日）開催

第3回ダウン症支援セミナー

ダウン症成人期の 支援を考える



2018/8/19(日) 10:00～16:00 (受付開始：9:15)

会場：東京日本橋タワー31階 (受付場所：7階)

写真：三山依里 写真モデル：小山将堂 有田真紀子 桃田由紀子 江崎淳一 釘島智一 溝上洋（左から）

参加費：4000円 締め切り：7月31日（火）

申し込み：<http://jds-support-seminar-2018tokyo.peatix.com>



主催・お問い合わせ

JDS 公益財団法人
日本ダウン症協会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル5階
TEL：03-6907-1824（平日 13:30～16:30）FAX：03-6907-1825
Mail: kenshu@jdss.or.jp URL: <http://www.jdss.or.jp>

テーマ ダウン症成人期の支援を考える

日本が長寿国となりダウン症のある人も例外ではありません。成人期をむかえるダウン症のある人は、どのようなものの考え方をするのか。どのように接したらよいか。青年期・成人期に気をつけたい事・健康管理・青年期・成人期に起こる変化と、どう向き合うか。ダウン症の支援プログラムに取り組んで いらっしゃる講師の方々とともにダウン症のある人への支援のあり方を考えるセミナーです。

プログラム	開催日： 8月19日（日）
10:00 ┆ 11:30	「ダウン症の健康管理」 講師：竹内 千仙先生
12:30 ┆ 14:30	「ダウン症のある人の成人期の考え方」 講師：菅野 敦先生
14:40 ┆ 16:00	「支援の実際と事例から学ぶ」 講師：橋本 創一先生

講師紹介

※敬称略・順不同

竹内 千仙（たけうち ちせん）

東京都立北療育医療センター 内科医長

資格：医学博士、神経内科専門医・指導医、総合内科専門医、人類遺伝専門医

橋本 創一（はしもと そういち）

東京学芸大学教授

1989年筑波大学大学院修了。東京都立養護学校教諭、東京学芸大学特殊教育研究施設専任講師・助教授を経て、現在は同大学教育実践研究支援センター教授。博士（教育学）。専門は、臨床心理学、障害児心理学。ダウン症や知的・発達障害者の心理特性や発達支援、カウンセリングを研究する。

菅野 敦（かんの あつし）

東京学芸大学教授

特別支援学校の教員を経て、筑波大学大学院修士課程教育研究科、その後、博士課程心身障害学研究科を修了。1988年より東京学芸大学に勤務し、現在、同大学教育実践研究支援センター教授。知的発達障害の心理学を専門とし、特にダウン症を対象に、乳幼児期から成人期、老年期に至る各期の発達特徴を明らかにし、支援方法を開発する生涯発達支援をテーマに研究している。

開催場所

東京日本橋タワー 31F
東京都中央区日本橋2-7-1

東京駅徒歩圏
日本橋駅 直結（銀座線・東西線・浅草線）
東京駅 八重洲北口より徒歩6分（JR線、丸ノ内線）
三越前駅B6出口より徒歩3分（銀座線・半蔵門線）

障害児者支援施設職員・特別支援学校教諭等、福祉・教育関係者ダウン症のある人たち支援をしてくださっている方向けのセミナーです。（保護者の方はご遠慮ください。）

主催
問い合わせ

公益財団法人日本ダウン症協会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル5階
TEL：03-6907-1824（平日13:30～16:30）FAX：03-6907-1825
Mail: kenshu@jdss.or.jp URL: http://www.jdss.or.jp

協力

太陽生命保険株式会社

後援

厚生労働省（申請中）